

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第43週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (43 週までに新たに届出のあったもの)

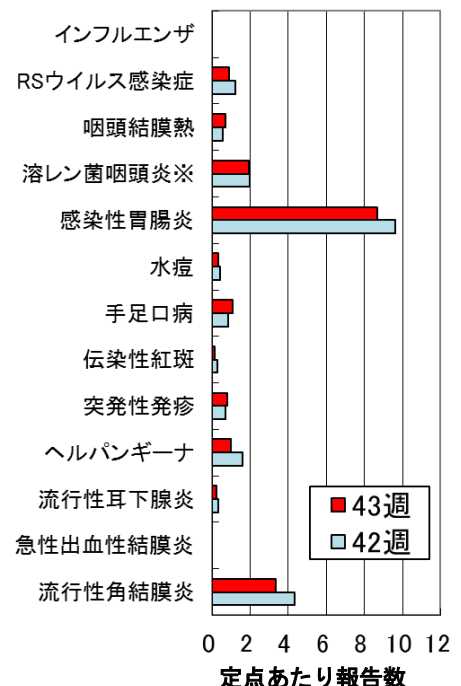
- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 3 例、梅毒 1 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	40 歳代	女	無症状病原体保有者	—	
			40 歳代	女	無症状病原体保有者	—	
4類	つつが虫病	都城	90 歳代	女	—	発熱、刺し口、肺炎	
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	50 歳代	男	—	尿路感染症、菌血症	
			80 歳代	男	—	肺炎	
			90 歳代	男	—	菌血症	
	梅毒	延岡	50 歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹	
	百日咳	日南	延岡	10 歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳	
			5~9歳	男	—	持続する咳	
10 歳代			男	—	持続する咳		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 572 人 (定点当たり 19.1) で、前週比 88%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はヘルパンギーナとRSウイルス感染症である。

《前週との比較》



★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 68 人(1.9)で、前週比 98%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 1.5 倍である。中央(8.0)、延岡(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は4~6歳が全体の約5割を占めている。

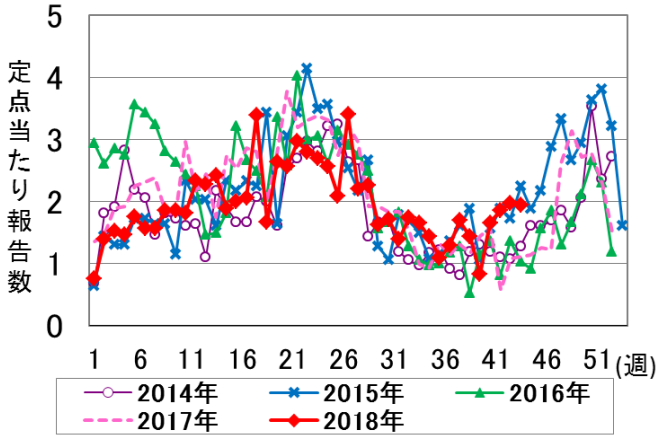
【ヘルパンギーナ】

報告数は 35 人(1.0)で、前週比 63%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.44)の約 2.3 倍である。延岡(2.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は6か月~3歳が全体の約9割を占めている。

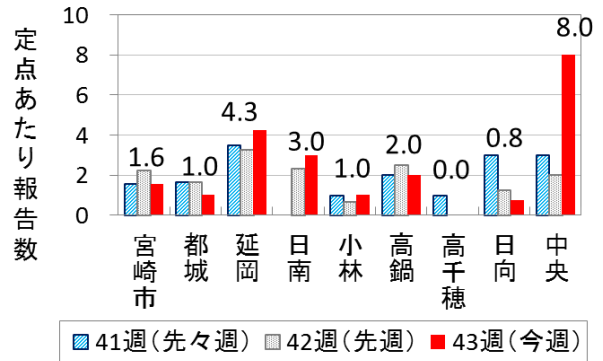
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

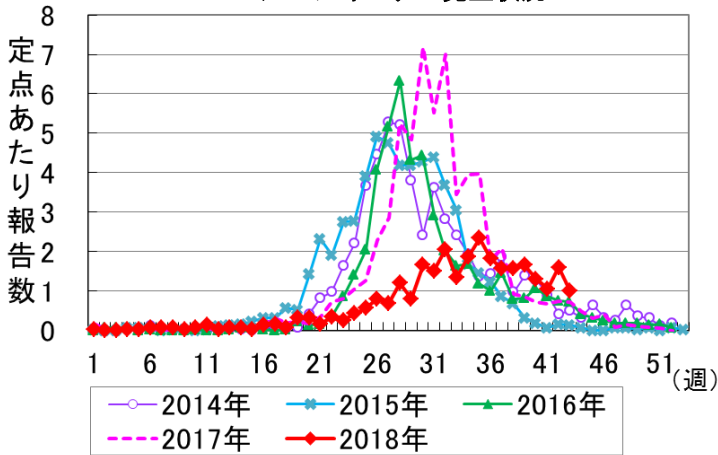
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



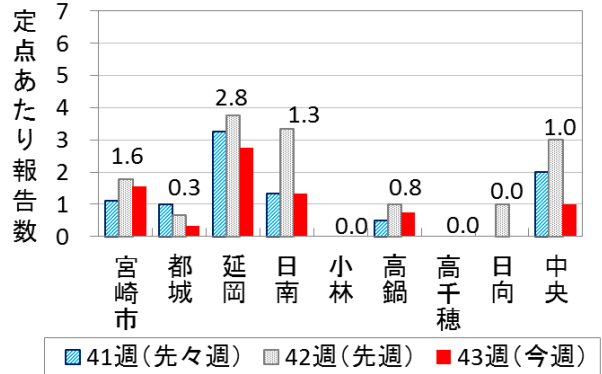
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(3.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0), 水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 42 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 42 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	367 例				
3類感染症	細菌性赤痢	20 例	腸管出血性大腸菌感染症	72 例	腸チフス	3 例
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	8 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	14 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	46 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	39 例
	急性弛緩性麻痺	10 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	97 例	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例
	百日咳	252 例	風しん	174 例	麻しん	8 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は R S ウイルス感染症である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,300 人(1.7)で前週比 130%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 1.1 倍である。鳥取県(3.4)、北海道(2.8)、福岡県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 4~7 歳が全体の約 5 割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 1,653 人(0.52)で前週比 95%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.29)の約 1.8 倍である。鹿児島県・宮崎県(各 1.6)からの報告が多く、年齢群別では 6 か月~3 歳が全体の約 8 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第43週(10月22日～10月28日)

疾病名		第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	43	31	2	10	4	5	1	2		4	3
	定点あたり	1.23	0.89	0.22	1.67	1.00	1.67	0.33	0.50	0.00	1.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	19	24	2	1	12	3	1	1		4	
	定点あたり	0.54	0.69	0.22	0.17	3.00	1.00	0.33	0.25	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	69	68	14	6	17	9	3	8		3	8
	定点あたり	1.97	1.94	1.56	1.00	4.25	3.00	1.00	2.00	0.00	0.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	336	304	65	81	3	33	33	51	5	28	5
	定点あたり	9.60	8.69	7.22	13.50	0.75	11.00	11.00	12.75	5.00	7.00	5.00
水痘	報告数	14	11	3	1	1	1	1	1		2	1
	定点あたり	0.40	0.31	0.33	0.17	0.25	0.33	0.33	0.25	0.00	0.50	1.00
手足口病	報告数	30	38	27	2	1	2				6	
	定点あたり	0.86	1.09	3.00	0.33	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	10	5	4			1					
	定点あたり	0.29	0.14	0.44	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	28	7	1	2	3	4	6		5	
	定点あたり	0.71	0.80	0.78	0.17	0.50	1.00	1.33	1.50	0.00	1.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	56	35	14	2	11	4		3			1
	定点あたり	1.60	1.00	1.56	0.33	2.75	1.33	0.00	0.75	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	11	8				7	1				
	定点あたり	0.31	0.23	0.00	0.00	0.00	2.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	26	20	16	2	2						
	定点あたり	4.33	3.33	5.33	1.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～43週)

2類感染症	結核	141例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	36例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	2例(1)	デング熱	1例	日本紅斑熱	17例
	レジオネラ症	6例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13例(3)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘(入院例)	1例	梅毒	4例(1)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	4例	百日咳	261例(4)
	風しん	3例				

()内は今週届出分、再掲